

10. 群馬県



10 群馬県

A. 医療提供体制の現状

群馬県の特徴は、(1) 潤沢な病床と看護師、不足気味の医師、(2) 高機能医療の前橋への集中、他の地域の医療資源の不足である。

(1) 平均的な病床と看護師、不足気味の医師

全県を通しての人口当たりの病床数の偏差値が 50、一般病床が 52、看護師が 50 と全国平均レベルだが、病院勤務医 (48) と全身麻酔数 (46) と、全国平均の 50 を下回る。

(2) 高機能医療の前橋への集中と過剰感、他の地域の医療資源の不足

大田・館林を除くと病床や看護師は全県的に配置されているが、前橋の病院勤務医の偏差値が 76、富岡を除く他の地域は全て 48 以下、前橋の全身麻酔数の偏差値が 73、富岡、藤岡を除く他の地域は全て 45 以下であり、高機能医療が前橋に集中している。前橋は、高機能病院が集中しすぎ、過剰感が強い。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(前橋)

県庁所在地である前橋には群馬大学があり、病勤務医の偏差値が 76 と病院勤務医が集中し、前橋は全国の県庁所在地の中で人口当たりの病院勤務医数が、2 番目に多い。全身麻酔数の偏差値が 73、看護師数が 61 と高く、多くの患者が県内から集まってくる。

2010→35 年にかけての総医療需要 7%増、後期高齢者の医療需要 55%増だが、人口が 16%減と全国平均を超えて減少、0-64 歳位の医療需要 29%減少から考えると、現在以上に急性期病床の過剰が進むと思われる。将来に向けて前橋に集中している医師が県内の医師不足地域へ分散するような方策の検討と実施や医師養成数の見直し、高機能病床の調整、一般病床から療養、亜急性期、回復期病床への転換などが必要な地域である。また、50%以上の増加が見込まれる後期高齢者の対策を進めることが望まれる。

(高崎・安中、渋川)

高崎・安中は、人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 40、全身麻酔数 37、総看護師数 44 であり、医療提供体制が弱い。その結果、前橋で医療を受ける患者が少なくない。2010→35 年にかけての総医療需要 8%増、0-64 歳以上医療需要が 24%減、後期高齢者の医療需要の増加率が 53%増と前橋とほぼ同様の推移が予想されている。急性期医療は、地域内及び前橋とのネットワークの強化を目指すことが必要である。また前橋同様、50%以上の増加が見

込まれる後期高齢者の対策を進めることが望まれる。

渋川は、前橋や高崎の北部に隣接した山間部に広がる医療圏であり、前橋や高崎への医療の依存が強い。2010→35年にかけての総医療需要8%増、0-64歳以上医療需要が29%減、後期高齢者の医療需要の増加率が56%増と前橋とほぼ同様の推移である。急性期病床の一部を療養や亜急性などの病床への転換を図り、地域内や前橋、高崎とのネットワークの強化などを目指していくべきであろう。

(藤岡、富岡)

この両地域は、過疎地としては提供されている医療の水準が高い地域である。特に富岡には、基幹病院として公立富岡病院があり、藤岡からの患者を数多く受け入れている。2010→35年にかけて総人口が3割以上減少するが、後期高齢者も30%以上増えるので、急性期病床の一部を療養や亜急性などの病床への転換を図り、現在ある施設の有効活用、地域内のネットワークの強化などを目指すべきであろう。

(吾妻、沼田)

この2つの医療圏は、群馬県の北部の山間部に広がる医療圏であり、基幹となる病院への移送がたいへんな地域である。総医療需要が6%減と8%減であり、特に0-64歳の医療需要の減少が大きいため、集約と基幹病院への移送能力の強化を基本に地域の医療機能を維持することが求められる。

(伊勢崎、太田・館林)

この地域は、病床、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数ともに全国平均を下回り、医療提供の少ない。2010→35年の総医療需要が伊勢崎19%増、太田・館林9%増と群馬県内で最も伸びの大きな地域であり、75歳以上の医療需要もそれぞれ6割を超える。急性期病床は、前橋とのネットワークの強化、現在ある施設の有効活用、地域内や前橋とのネットワークの強化などで対処し、今後急増する後期高齢者への早急な対応が、望まれる。

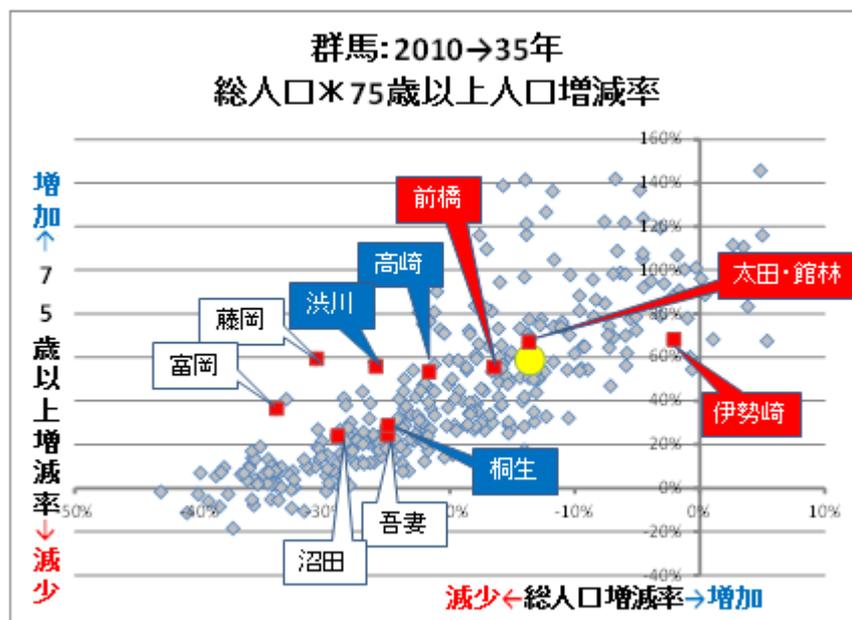
(桐生)

桐生は病床と総看護師数は全国平均を上回るが、病院勤務医数、全身麻酔数ともに偏差値4.5を切り、医師の少ない地域といえる。2010→35年の総医療需要が8%減、75歳以上の医療需要も29%増と少ないので、急性期病床の一部を療養や亜急性などの病床への転換を図り、現在ある施設の有効活用、地域内のネットワークの強化などを目指していくべきであろう。

表 10-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
群馬県	2,008,068	19位	6,362	21位	315.6		23%	-15%	51%
前橋	340,291	17%	312	5%	1,091.9	大都市型	23%	-16%	55%
高崎・安中	432,379	22%	736	12%	587.7	地方都市型	23%	-22%	53%
渋川	117,501	6%	289	5%	406.8	地方都市型	24%	-26%	56%
藤岡	71,633	4%	477	7%	150.3	過疎型	25%	-31%	59%
富岡	77,022	4%	489	8%	157.7	過疎型	29%	-34%	36%
吾妻	61,109	3%	1,278	20%	47.8	過疎型	31%	-25%	24%
沼田	89,032	4%	1,766	28%	50.4	過疎型	28%	-29%	24%
伊勢崎	244,757	12%	165	3%	1,482.1	大都市型	20%	-2%	68%
桐生	173,603	9%	483	8%	359.6	地方都市型	27%	-25%	29%
太田・館林	400,741	20%	369	6%	1,086.1	大都市型	21%	-14%	67%

図 10-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012
 (A.「医療提供体制の現状」、表10-1、表10-2、表10-5、図10-4)
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3
 (図10-5)

表 10-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
群馬県	26,628	1.6%	1,326	50	15,210	1.7%	757	52	22,532	1.7%	97	51
前橋	4,659	17%	1,369	51	3,125	21%	918	58	3,964	18%	100	52
高崎・安中	4,851	18%	1,122	46	2,718	18%	629	46	5,232	23%	106	55
渋川	2,314	9%	1,969	63	1,089	7%	927	59	1,381	6%	94	49
藤岡	953	4%	1,330	50	703	5%	981	61	1,054	5%	115	60
富岡	1,311	5%	1,702	58	549	4%	713	50	1,082	5%	88	46
吾妻	1,977	7%	3,235	88	1,205	8%	1,972	101	850	4%	80	43
沼田	1,111	4%	1,248	49	716	5%	804	54	1,400	6%	98	51
伊勢崎	2,901	11%	1,185	48	1,476	10%	603	45	1,840	8%	80	42
桐生	2,556	10%	1,472	53	1,241	8%	715	50	2,218	10%	98	51
太田・館林	3,995	15%	997	44	2,388	16%	596	45	3,511	16%	94	49

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 10-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

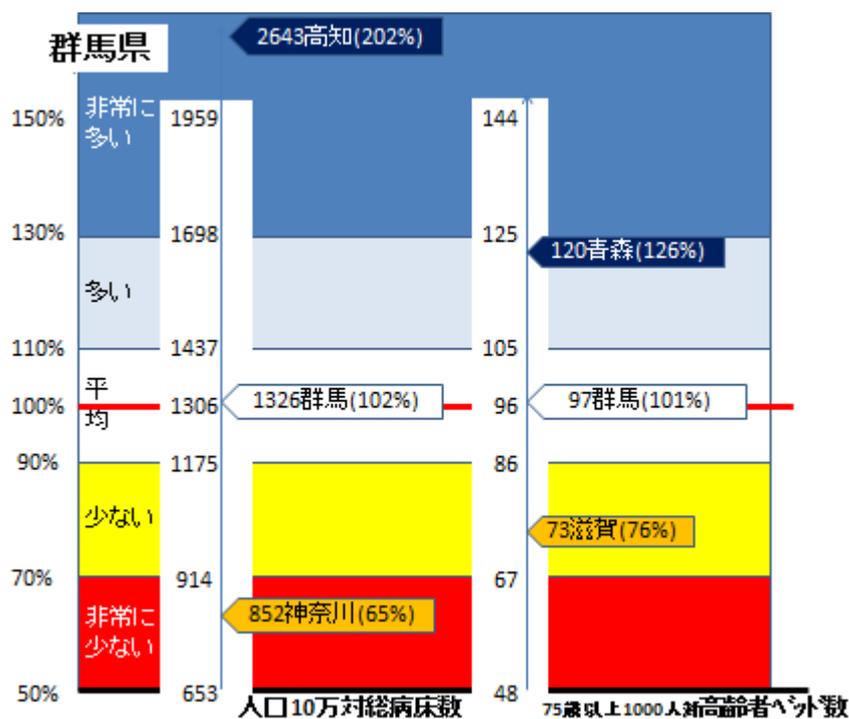


表 10-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
群馬県	4,841	1.5%	241	49	1,195	1.9%	60	53	5,261	1.5%	262	49
前橋	404	8%	119	43	132	11%	39	48	983	19%	289	51
高崎・安中	922	19%	213	48	303	25%	70	55	882	17%	204	47
渋川	155	3%	132	44	43	4%	37	47	973	18%	828	76
藤岡	191	4%	267	50	55	5%	77	56		0%	0	37
富岡	348	7%	452	59	54	5%	70	55	360	7%	467	59
吾妻	389	8%	637	68	156	13%	255	97	223	4%	365	54
沼田	343	7%	385	56		0%	0	39	48	1%	54	40
伊勢崎	422	9%	172	46	190	16%	78	57	809	15%	331	53
桐生	839	17%	483	61	106	9%	61	53	366	7%	211	47
太田・館林	828	17%	207	47	156	13%	39	48	617	12%	154	44

表 10-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
群馬県	2	1.0%	1.0	48	9	2.4%	4.5	54	1,387	1.6%	69	50
前橋	1	50%	2.9	56	2	22%	5.9	58	214	15%	63	48
高崎・安中	1	50%	2.3	53	1	11%	2.3	48	304	22%	70	50
渋川	0	0%	0	43	1	11%	8.5	66	63	5%	53	46
藤岡	0	0%	0	43	1	11%	14.0	81	53	4%	75	52
富岡	0	0%	0	43	1	11%	13.0	78	55	4%	72	51
吾妻	0	0%	0	43	0	0%	0	42	111	8%	182	80
沼田	0	0%	0	43	0	0%	0	42	77	6%	87	55
伊勢崎	0	0%	0	43	1	11%	4.1	53	187	14%	77	52
桐生	0	0%	0	43	1	11%	5.8	58	130	9%	75	52
太田・館林	0	0%	0	43	1	11%	2.5	49	191	14%	48	45

表 10-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
群馬県	2,269	1.4%	113	48	13,279	1.6%	661	50	21,024	1.2%	1,047	46
前橋	883	39%	259	76	3,045	23%	895	61	10,988	52%	3,229	73
高崎・安中	304	13%	70	40	2,236	17%	517	44	1,688	8%	390	37
渋川	133	6%	113	48	1,000	8%	851	59	144	1%	123	34
藤岡	79	3%	110	48	558	4%	779	55	886	4%	1,237	48
富岡	96	4%	125	50	609	5%	791	56	1,340	6%	1,740	54
吾妻	53	2%	87	43	499	4%	816	57	44	0%	72	33
沼田	75	3%	84	43	603	5%	677	51	152	1%	171	35
伊勢崎	219	10%	89	44	1,438	11%	587	47	2,396	11%	979	45
桐生	150	7%	86	43	1,261	9%	726	53	1,114	5%	642	40
太田・館林	277	12%	69	40	2,031	15%	507	43	2,272	11%	567	40

図 10-3 病院勤務医数（人口 10 万人あたり）

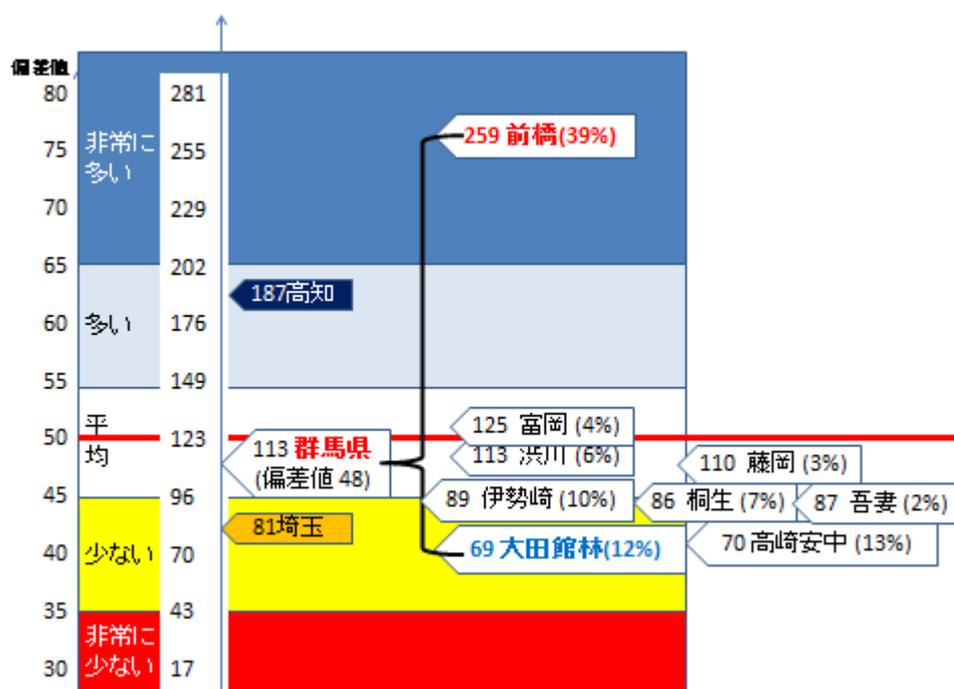


表 10-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
群馬県	11,507	1.6%	49	49	5,130	1.7%	22	50	6,377	1.6%	27	49
前橋	1,852	16%	47	47	805	16%	20	47	1,047	16%	27	48
高崎・安中	2,415	21%	49	49	1,115	22%	23	51	1,300	20%	26	48
渋川	830	7%	57	56	400	8%	27	60	430	7%	29	51
藤岡	510	4%	56	55	220	4%	24	54	290	5%	32	54
富岡	600	5%	49	49	240	5%	20	46	360	6%	29	51
吾妻	520	5%	49	49	230	4%	22	50	290	5%	27	49
沼田	715	6%	50	50	315	6%	22	50	400	6%	28	50
伊勢崎	1,030	9%	45	45	480	9%	21	48	550	9%	24	46
桐生	1,170	10%	52	51	500	10%	22	50	670	11%	29	51
太田・館林	1,865	16%	50	50	825	16%	22	50	1,040	16%	28	50

表 10-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
群馬県	11,025	1.7%	47	51	3,994	1.7%	17.2	50	2,666	1.7%	11.4	50
前橋	2,112	19%	54	54	922	23%	23.4	56	351	13%	8.9	46
高崎・安中	2,817	26%	57	56	1,023	26%	20.8	54	711	27%	14.4	55
渋川	551	5%	38	46	86	2%	5.9	40	207	8%	14.2	55
藤岡	544	5%	60	58	171	4%	18.7	52	115	4%	12.6	52
富岡	482	4%	39	47	180	5%	14.7	48	170	6%	13.9	54
吾妻	330	3%	31	42	98	2%	9.3	43	135	5%	12.8	53
沼田	685	6%	48	51	291	7%	20.4	53	126	5%	8.8	46
伊勢崎	810	7%	35	44	304	8%	13.2	47	171	6%	7.4	44
桐生	1,048	10%	46	50	372	9%	16.4	50	207	8%	9.1	47
太田・館林	1,646	15%	44	49	547	14%	14.6	48	473	18%	12.6	52

表 10-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
群馬県		6%	-27%	-6%	-19%	51%	43%
前橋	1	7%	-29%	-4%	-20%	55%	47%
高崎・安中	2	8%	-24%	-5%	-17%	53%	45%
渋川	2	8%	-29%	-7%	-21%	56%	47%
藤岡	3	6%	-34%	-11%	-26%	59%	50%
富岡	3	-1%	-37%	-18%	-29%	36%	30%
吾妻	3	-6%	-38%	-21%	-31%	24%	19%
沼田	3	-8%	-43%	-19%	-34%	24%	19%
伊勢崎	1	19%	-13%	18%	-3%	68%	60%
桐生	2	-8%	-35%	-24%	-30%	29%	22%
太田・館林	1	9%	-25%	-1%	-17%	67%	55%

図 10-6 群馬県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

